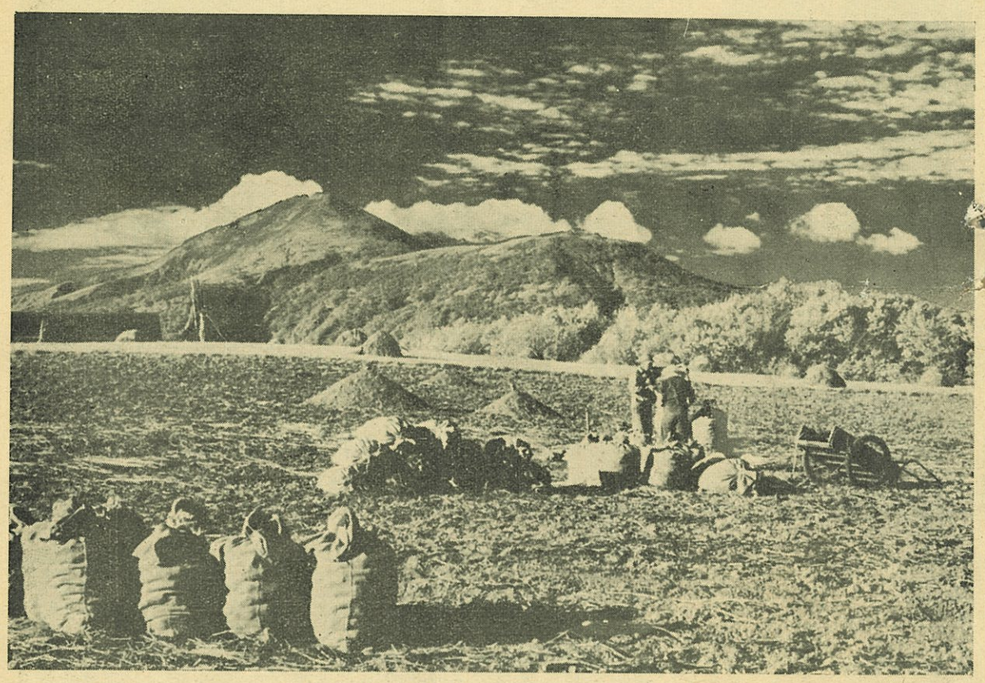
昭和３７年１月号【第62号】

広報かりぶと

寿 1962 迎春



勅題「土」に因みて　　大槻弘之氏提供

謹賀正

謹んで新春のお慶びを申し上げます

昭和三十七年元旦

町長　高瀬金次郎
助役　笠原庄次
収入役　森恵

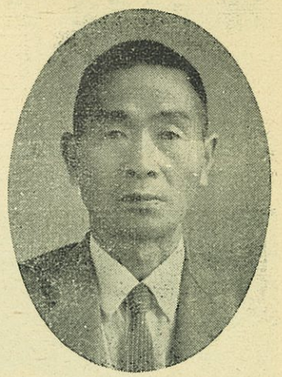
町議会議長　佐藤初一
副議長　高橋静

議員

原ヲクラ　亀田貞勝
今井重春　堀勝
青山春雄　佐々木福市
南谷良助　千葉永吉
高木嘉雄　樫原伊織
瀬戸常重　石山市太郎
喪中　中居梅造　大場定雄
日野浦敏雄　入倉寅治
喪中　高橋清左エ門　中野源太郎
佐藤福太郎

消防団長　佐藤初一
喪中　教育委員会委員長　笠木申一
教育長　上野法雄
農業委員会長　大越三郎
町立狩太病院長　開田吉広
選挙管理委員会委員長　前田長太郎
公平委員会委員長　藤本房次郎

年頭言



新年を迎えて

狩太町長
高瀬金次郎

町民のみなさん、明けましておめでとうございます

みなさまとともに輝かしい昭和三十七年の新春を迎えましたことは限りない喜こびに堪えないところであります。昨年はご承知のとおり、本道の米作が開道以来の収穫といわれ、しかも全国第一位の金字塔をうち樹てられましたことは、好条件の天候に恵まれましたこととは申し乍ら農民みなさまの生産技術の向上と、不断の御精励による賜であります。

本町におきましても、国の施策であります国民所得倍増計画に呼応いたしまして農業基本法に基ずく農業生産所得の増加に意を用い力をいたしましたが、たまたま七月、道央部を襲いました集中豪雨は、本町にも漏からず被害をもたらし、降雨量も開基以来の二四六粍に及ぶ水量を被り、各河川はもとより、田畑の冠水、崖崩れなどの被害を蒙ったのでありましたが、町民一体となりまして、これに対処いたし被害を最小限に終始いたしましたことは不幸中の幸いであつたと存じております。

わたくしは町民みなさまの御支持を得ましてから、本年は、その任期の最終の年を迎えました。

この間、みなさまからお預りいたしました町政の執行に微力を捧げてまいつたのでございますが、幸いにもみなさまの御協力と上層部のご指導とによりまして、町政の目標であります、健全財政の確立と、明るい町づくりをモットーといたしまして、諸般の施策の実現を期してまいつたのでございます。とりわけ懸案であり、町民のみなさまも、ひとしく関心を寄せておられました道路の改良工事は、国道竝びに道々ともどもに昨年着手いたしまして、道々狩太、ニセコ線の改良工事、庚上防止、路盤の改良、芙蓉橋の橋台、橋脚の建設を日夜進められており、本年度におきましては芙蓉橋の竣功、さらに路線の改良工事、二粁程度が予定せられております。

また留寿都、狩太停車場線の路面改良も昨年夏より着手せられまして、本年度におきましては市街地全部、一・三〇〇メートルの舗装工事の竣功を見る運びとなつております。

国道におきましても五号線の路線改良、拡張工事が着手せられ、本年度におきましては宇有島酒井宅前より倶知安側へ三粁程度の改良拡張工事が予定せられておりまして、本町といたしましても協力は、おしみなくいたしておりますとともにこれに伴う町村道の整備にも意をもちい着々と実現を期している次第であります

幸いにして昨年は王子製紙尻別発電所の企業整備の関係から、社宅の一括払い下げをうけまして、本通一町内の一劃に二六戸の住宅移築を完了いたしまして、庶民職員の住宅に供し住宅難の一部を解消いたし、加えて廃校いたしました王子小学校舎を狩太小学校裏に移築いたし、社会教育会館としいたしまして、夏期は保育園に供し、冬期間は青年子女の学びの庭として社会教育の一環に福祉の運用に供せられておりますことは、御承知のことと存じます。

観光地、ニセコと昆布温泉郷は春、夏、秋、冬、年を逐うて、その来遊者の激増をみまして国民保養温泉と指定せられましてから関係町村とともに相諮りましてその施設の整備拡充強化につとめており、旧ろう、ニセコ山ノ家の増築工事の竣功によりまして、ニセコの偉容に一光彩を添え、念願の国定公園昇格の機運も、近きにありと思料せられるのでございます。

今冬も昨年と同じく国鉄、ご当局の御高配によりまして、上下各急行列車の本町停車、本町、札幌間の直通準急ニセコ号の運行など、本町への来遊者も増加いたしまして町産業経済におよぼす影響も極めて大いなるものがあると確信いたしております。

町税につきましては、みなさまの納税意慾の昂揚と御協力によりまして、その納税率も（十一月末）町民税におきまして、九八・四七パーセント、固定資産税九八・〇〇パーセント、国民健康保険税九六・九七パーセントの好成績を収めることができまして、このご協力に対しましては、心から感謝申上げる次第であります。

本年は各主要幹線道路の竣功によりまして、産業経済面はもとより各方面の施策に心をいたしまして、幾多の懸案事項を町議会議員の諸賢と相諮り、着々と実現に邁進いたす所存でございます。

何卒特段の御協力をお願い致す次第でございます。

終りに臨み、町民みなさまの心からなる御多幸と御健康をお祈り申し上げまして新年の御挨拶といたします

出初式
一月六日

新春恒例の町消防団出初式は一月六日に挙行せられます。当日は次の時刻にサイレンを吹鳴いたしますからまちがいのないよう、ご注意下さい。

◎サイレン吹鳴時刻◎

一月六日
午前　六時三〇分
七時〇〇分
一〇時三〇分

もつと牛乳を飲もう！

私たちの食卓や学校給食でいただく牛乳は、いろいろの栄養分をちようどよい割合に含んでいる、いちばん良い食物といわれていますが、日本では利用量は少なく、外国では一人あたり一日二本（一本は一八〇cc）から三本も飲んでいるのに日本では一週間に一本位しかのんでいません。

それに日本人は米が主食であるため、どうしても栄養がかたより、動物性の蛋白質、脂肪、カルシウムがかなり足りないことがはつきりしています。こんなところから、からだを小さいうちに立派につくりあげるのに牛乳類が戦後の学校給食にとり入れられ、すばらしい効果をあげているわけです。私たちは学校給食で親しんだ牛乳やバターを、もつともつと利用して元気な毎日を送るようにいたしましよう。

年頭のご挨拶

北海道知事
町村金五

道民のみなさま、あけましておめでとうございます

清新の気満つる昭和三十七年の初春を、みなさまとともにめでたくお祝いできますことを、心からうれしく存じます。

昨年、道民をあげてお迎え申しあげました天皇、皇后両陛下におかせられては新緑におう支笏湖畔の植樹行事をはじめ全御旅程をつつがなく終えられ、本道の著しい躍進の様相に、ことのほかご満足あそばされましたことは、道民ひとしく感激いたしたところであります。

さらに、みなさまもご承知のように、本道の米作が八十五万四千トンの収穫をあげ、全国第一位という開道以来の記録をうちたてたのをはじめ、本道の産業、経済がきわめて順調に伸展いたしましたことは、まことにご同慶にたえないしだいであります。

しかしこの半面、七月の道中央部を襲つた集中豪雨や、十月の道南地方の豪雨あるいは森町の大火、炭礦の事故など、一連の災害が発生しましたことは、まことに心痛むことでありまして、道としてはできるだけの措置を講じたのでありますが、道民のみなさまからもこれら被害をうけられた方々にまごころこもつた、ご支援をお寄せいただきましたことに対し、心から感謝いたしますとともに、そのあたたかい人間愛に深い敬意を表したしだいであります。

わたくしは、知事に就任以来この三年間、みなさまから御預りいたしました道政の執行に最善をつくして参りましたが、幸いにも道民のご協力と、国の理解ある措置を得ることができまして、当初の念願が、おおよそ実現する見通しを得るに至りましたことは、まことに喜こびにたえないところであります。

本年は任期の最終の年でもありますので、とくに決意を新たにして、いつそう充実した道政の進展につとめて参りたいと念じておりますが、ことに本道産業経済が日本経済の高度な成長に則応するよう、その近代化のための施設を重点的に進めるとともに、地域間、階層間の格差を縮少して、道民ひとしく明るく豊かな生活ができますよう、強力な方策を講じて参りたいと念じております。

本道は、明治二年以来国が主導して組織的な開発を進めてきましたが、明治二十七年から始められた総合開発の総仕上げとして、本年中にその計画策定を終る予定であります。

したがつて、本年はそのつなぎめの年として、また歴史的躍進の契機の年としてまことに重要な意義をもつているのであります。

わたくしは、この第二期計画の策定にあたつては、新しい日本の国づくりに大きな役割を果たし得る本道独自の有利な条件を最高度に生かして、国民経済の発展に寄与する一方、道民福祉の向上をはかることに主眼をおいて参りたい所存であります。

ここでとくに申しあげたいことは、この総合開発の豊かな結実は、道民みずからの汗によつて、はじめてもたらされるものであるということであります。

わたくしたちは、その限りない可能性に確信をもち、父祖からうけついだ、烈々たる開拓者精神をいよいよ発揮し、五百万道民が一体となつて、美しく、住みよい北海道の建設に希望をもつて、協力されるようねがつてやみません。

豊かなる未来の栄光に向かつて、新らたなる年は明けそめたのであります。

郷土の発展と、みなさまのご多幸をせつに祈つてやみません。

昭和三十七年元旦

年頭のことば

後志支庁長
古田錦栄

後志地方のみなさん、明けましておめでとうございます。

昨年は不幸にいたしまして、管内未曾有の集中豪雨により、四十数億に上る被害の発生を見ましたことは真に大きな痛手でありまして、今も記憶に新らしいところです。この復興については、各関係方面の非常な御協力をいただき、着々とその実施に移つており、深甚なる感謝の意を表する次第であります。

今年は虎年であります。私共はひとつこの虎にあやかり、意気けんこう、勇猛果敢、いかなる難事も為し遂ぐる年でありたいと思います。私は着任しまして早くも半歳となり、皆様方からいろいろと当地方の課題を教えていただきましたので、今年はこれらについて関係各位の御支援を頂戴して、諸対策の推進に当る決意を、この新年を迎えて新らたにいたしておるものであります。さて、後志は本道開発上、開基的歴史をもつており、しかも札樽近傍にありながら、いまなお経済的伸長度が低いと称されております。

さきに政府は国民所得倍増計画を樹立し、昭和四十五年度には国民の所得を今の倍に増やす経済政策の発表がありました。道におきましても、北海道独自の立場から、国の経済計画を尊重したところの昭和四十五年度を目標とする、第二期北海道総合開発計画を目下策定中であります。この北海道の計画は非常に意慾的なものであり経済成長率は国の計画を上廻つた年平均九・三パーセントとして一人当り生産所得を昭和四十五年度には二四万円になるように考慮されており全体的に産業構造の高度化と生産力の増大をおし進める対策がもられております。

当後志地方の地域計画案もさきに道に提出し、それぞれ検討されたところでありますが私たちもこの培増ムードの波にのりおくれないような心構えや努力をこの新年早々身につけて他の地域に立ちおくれや遜色のない発展について努力し、しかも札樽の背面地盤としての優位性と道央道南を結ぶ幹線地帯としての特異性を生かす経済発展に意を払い豊かな郷土の建設に勇猛果敢に取り組んでゆかなければならないと考えます。

幸い今年は、道路、港湾漁港等、産業の基盤となる公共事業も大きくとり上げられており、特に酪農の振興、沿岸地帯の振興事業等に期待する計画も大きく検討されておりますので、明るい希望のもてる年であると思います。

どうか皆さん、前途に希望の光を認めて、新らたな構想を勇敢に実行して、今年一年を最も意義ある年にされますよう切望して、新年の御挨拶といたします。

年頭のご挨拶

町議会議長、消防団長
佐藤初一

町民のみなさん、新年おめでとうございます。

私は日頃、みなさんから絶大なる御支援をいただきまして、議長の職責を大過なくすごさしていただいておりますことを、偏えに御協力の賜と深く感謝申し上げます。

昨年は幸い条件のよい天候にも恵まれまして一昨年に引き続き、豊穣の年を送り米作の収穫量におきましては御承知のとおり全国第一位といわれ、農民の方々はもちろんのこと、町民の方々とも豊かなる、しかも穏かなる迎春ができましたことは、まことにご同慶の至りと存じます。

昨年はひとしく待望いたしておりました国道、道々の改良工事が着手せられ、本年度におきましては、道々狩太、ニセコ線の改良工事とりわけ美蓉橋の永久橋にかけ換え工事も竣功を予定せられまして、完成の暁には一偉容を誇ることと存じます。又一面、留寿都、狩工され、その改良舗装工事も市街地一・三〇〇メートルにわたり、年内竣功をみるはこびとなつておりますことは町産業経済の発展のためにも、一進展を劃すことと存じまして、みなさんとともに慶賀に堪えないところであります。

町政につきましても明るい住みよい町づくりを目標としまして町理事者と相諮り幾多の懸案の早期完遂に参画いたしてまいりたいと念願いたしております。

消防団長といたしまして、併わせてご挨拶申し上げます。

本町の消防業務に対しましては常に格段の御高配をいただきまして、お蔭をもちまして装備、施設におきましても充実強化さ[illegible]ましてい[illegible]不時の災害に対し万全の態勢が確立せられておりますことは団員とともに深謝申し上げる次第であります。

しかしながら、昨年は近年にない火災が発生いたしましたし、加えて七月の集中豪雨によります被害を省りみまして誠に痛恨事であつたと存じております。

昨年の火災を見ますと大部分は部落方面に発生しており、いきおい十二分の消防力が発揮出来ない状況にありましたことは誠に遺感なことと存じております。

ことに冬期間は積雪などによりまして、悪条件が伴ない消防力も充分に発揮出来ない状況におかれます。

何卒各戸が充分火の元に、ご留意せられまして火災のない明るい住みよい町の実現のため御協力を切にお願い申し上げます。

誠にそ辞でございましたが町議会を代表致しまして新年のご挨拶といたします。

世界アルペンスキー選挙権大会に日本派遣選手
河畑選手 一月七日に狩太駅より出発

河畑栄子選手は、いよいよ新年一月七日、午后一時十一分の汽車で出発し渡欧することになりましたが、同選手の晴れの壮途を祈り多数の見送りをお願いします

注意守って 冬山を楽しく
◆◆◆冬山の遭難事故防止◆◆◆

雪とは切つても切れない北海道の土地がらからみて冬山を楽しむことは、わたくしたちの特権といえるかも知れません。しかし楽しさの反面には毎年のように遭難事故の暗いニュースがわたくしたちを悲しませていることを見のがしてはならないと思います。

警察でも、地元の山岳連盟、林務署、市町村、自衛隊、その他の機関と協力して救助対策をたて、遭難事故防止に努力していますが何よりも大切なことは、冬山に行く、ご本人の心がまえや注意であろうと思います。

いつの遭難事故の場合でも、ちょつとした注意がたりなかつたために、とんだ大事を引き起しているというのが実情であり、冬山をあまくみたり軽く考えて出かけることは好んで事故を招くようなことになり勝ちです。

△山の地形や特徴をよく知る。

山の地形や特徴をよく調べ、経験の深い人から指導をうけて計画を立てることが必要です。

冬山は雪の積り具合でその都度、状況の変ることを忘れてはなりません

△食糧や装備は十分に、寒さにたえるような服装が必要であることは、いうまでもありませんが懐中電灯、携帯燃料、マッチなども忘れてはなりません。特に食糧は、いつの場合でも余分に持つように心がけましょう。

一本のカツオブシや一枚のスルメで命をつないだ実例もあります。

△気象状況をよく研究する。

ラジオ、テレビの天気予報や新聞の天気図などをよく調べ、トランジスターラジオを持つことも便利です。

△体力と健康などに応じたコースを。

無理な計画は事故のもとです。体力、技能、健康状態などに応じたコースを選びましょう。

△避難の心がけ

吹雪など天候が悪くなつたときは、早く避難してください。冬山は気象の変化がはげしく、予想外のことも起き勝ちです そんなときには、すぐ引きかえすか雪穴をつくつて避難してください。

△登山計画の連絡

登山計画は家族や職場に知らせておき、さらに宿泊施設にも連絡してください。遭難した場合、家族や職場がどこであるかわからず、いろいろと手違いのできることがありますので、お互いのために、ぜひこれを守つてください。

なほ最寄の駅や、宿泊施設、もよりの警察署、派出所、駐在所には登山者名簿の用紙がありますので、それに記入することを励行願います。

成人式

父兄の方も一堂に会して……
今年の成人者 一三四名

新春を寿ぎ、世をあげてはればれとした気持に、うれしいとき、とりわけ、晴れの成人の日を迎えられました、一三四名の方々は、本当に歓喜の心で一杯でしよう。

心からお祝福申し上げます。

大人になつた、成人となつたという慶びと、自覚、そして自ら生き抜こうとする、若い方々を祝い、励ます日。

〃一月十五日〃 成人の日であります。

本町におきましても、例年にならい、町民みなさまのご協力によつて、つぎの要領によつて、成人式ならびに、成人祭が挙げられます。

×　×　×　×

成人式（狩太中学校）

順序 午前九時

一、開式のことば
二、国歌斉唱
三、式辞
四、成人者氏名報告
五、記念品贈呈
六、成人者宣言
七、来賓祝辞
八、成人者答辞
九、成人の歌斉唱
十、閉式のことば

記念講演
講師 後志地方教育局長 中藤哲郎先生

成人祝賀会（狩太中学校）

一、開会のことば
二、主催者挨拶
三、祝宴
四、成人の感想
五、万才三唱
六、閉会のことば

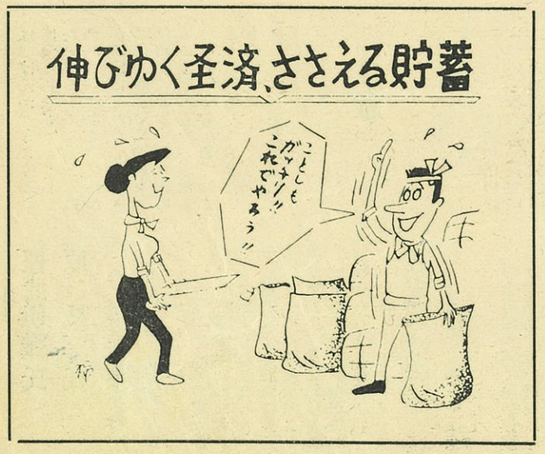
△父兄の方で、この成人式に参列ご希望の方は、一月十日までに教育委員会にお申込み下さい。お一人、一〇〇円ご負担願います。

◆輝く昭和三十七年

成人となられました次の方々に、町民のみなさまとともに、心からのお祝福をいたしましよう。

全町成人者氏名

（本通一）平森則子　橋本喜太郎
（本通二）加賀菊治　青山淳子
森川邦夫　稲見トキ子
田中勝子
（本通三）荻野孝子　木村敏夫
（本通四）金沢高正
（本通五）大徳勝也　米田信子
（本通六）夏坂ツヨ　村橋英司
（本通七）岩田叔美　南谷功
（富士見）三浦恵一　伊藤勝代
（本通八）大窪政直　岡村隆子
（本通九）佐々木美津子　日野浦勝子
（本通十）山本晃司　柵木由美子
（中央一）戸井宣夫
（中央二）櫛野トシ子
（中央三）坂本孝
（中央四）天野康子　福田忍子
（中央五）野崎勝宣
（中央六）矢橋ヒロ子　深貝祐三
（中央七）大間和子
（元町）沢井久子　西河正秋
（松岡）小原久志　遠藤ヒサ子
（新興）坂本ミキ子
（福井）佐藤寅　渡辺トミ子
（有島一）久保光子　二瓶雪子
（有島二）佐藤秀男　辻和夫
（有島三）堀尾良則
（相馬）出口秀子　小見山国広
（西富）外山喜勝　成瀬千枝子
（五十万）林信夫
（昆布）佐藤幸三
（尾ノ上）大道勝芳
（藤山）四宮嗣三　大道イツ子
（吉川）中野リヨ　中野恵美子
（ニセコ）斉藤ユミ子
（西山）佐藤愛優　高橋武男
佐竹昭夫　竹内春男
佐竹藤子　中西頼子
（滝台）穂山昭平　増原福子
佐藤ひろ子　中条よしえ
（東山）青山稔　菅原章
（北栄）芳賀せつ子　桐井信征
浅田文江　三田村誠
川島勝子
（有島二）清水幸一　木島和子
（有島三）大槻カツコ　亀田サト
（羊蹄）三好勝夫
（共栄）木内洋子　高橋ミエ子
松永茂男　佐藤ツヤ子
（北栄）松田美奈子　佐野幸樹
（宮田）三ツ橋さつ子　高橋タイ子
（別太）久保賢治　坪井正幸
久保節子　坪井幸子
田中鉄美　佐々木諒子
（里見）佐藤正子
松原和子　三ツ本洋子
松原勝子　山田征猛
（川崎）武田みさ子　南かつ子
堀シズエ
（富川）毛利久子　大栗俊夫
佐藤義雄
（小花井）佐藤文子
（絹丘）大橋勇
真家元男　萩原稔
松尾倉治　保科重勝
（黒川）千田直樹　酒井公雄



学校の冬休みと少年

年末から学校も冬休みとなり、クリスマスや、正月の楽しい毎日がつづきます。

しかし、楽しいはずの年末年始も、家庭や職場のいそがしさのためお子さんの生活に目がとどきかね、場合によつては、かわいいわが子を不良の仲間に追いやるということもあるわけですから、おたがいに注意しなければなりません。

⊙　おとなの責任もある

少年が不良化したり、罪をおかすことは、少年自身の責任も多いのですが、しかし、少年は大かれ少なかれ、おとなのおこないを見ならうものですから、こうした少年をせめるまえに、まず、おとながお互いに反省してみる必要があると思います。

⊙　家庭や地域社会で注意しなければならない点

△　計画性のある正しい生活をさせる。

年末年始は特におとなの生活がみだれ、その影響をうけて少年の生活もまた、乱れやすいので、自主的な計画を立てさせ家庭内の全員が助け合い話し合い、規律ある正しい生活の中にも、楽しさが体験できるよう指導する必要があります。

△　小使銭の使い方を指導

こどもの年令に応じ小使銭を与えることにより金銭に対する正しい考え方を身につけさせるとともに、その計画的な使い方について愛情をこめた指導が大切です。

△　夜の外出に注意する

映画、演劇、大売り出しなど、少年の好奇心をそそるような催し物が多く、夜の外出もふえ勝ちですが、こうしたときには、つとめて信頼のおける友だちといつしよに行かせたり、必要によつて家族が同伴するような注意をしてください。特に女のお子さんの場合は、単独で夜間外出をさせないよう、厳重に注意してやる必要があります。

△　映画などからくる不良化の注意。

この時期には、少年を対象とした映画などが多いし、いろいろな、ナイトショーもあり、中には少年の純心な心をむしばむような悪い内容があるので、これにしげきされて不良化したり、罪をおかすこともありますから十分注意してやりたいものです。

△　刃物類は持たせないこと

外出するときは、服装や持ち物に注意し、特に刃物類その他、けんかの道具に使われそうな、あぶない物を持ちあるかせないようにしましよう

△　勉強の習慣をつけさせる。

これは申し上げるまでもないことですが、遊びぐせをつけてしまうと、勉強をいやがり、サボる習慣から抜け切らず、多分に不良化の危険が出てきます。

△　よい友だちを選ぶ

ふとしたことから不良だちと交際したり、悪い仲間に引き入れられる危険もありますので、わが子の友だちづき合いには十分な注意が必要です。

△　酒やタバコをのませない。

クリスマスや正月だからといつて、悪い友だちやおとなが、少年に酒やタバコをすすめることがあると思いますが、発育ざかりの少年には、生理衛生的にも害があるばかりでなく、それが不良化や少年犯罪と密接な関係が出てきますので、酒やタバコは、絶対にのませないようにすること

△　群衆心理に注意させる。

学校の冬休み、クリスマス、正月というような少年の解放感から、ことの善悪をある程度わきまえていながら、グループ的行動をする場合、群集心理から、思いがけない事件や事故を引き起こすことがあります。（たとえば、けんか、きょうかつ婦女暴行など）こうした点をいましめるとともにグループの中で、だれかが横路にそれだしたときには、お互いに冷静を失なわず、それを引きとめるような考えを、ふだんから少年にもたせておくように注意しておきたいものです。

狩太巡査部長派出所

おせち料理にご注意

最近お正月は、冬期間のレクリエーションという考え方が強くなり、それについていわゆる、おせち料理も年々姿を消しつつあります。

しかし、少なくともお正月のうちの一日ぐらいは、このおせち料理を食べたいという人は、まだかなりいるようです。ところが、このおせち料理は、食べ物の衛生の面から、あまり感心できない点が多くあります。

たとえば店で売つている正月食品は作つてから、口にはいるまでには、相当に長い日数がかかり、したがつて、その品質を保証するために製造者は、防腐剤や保存剤を使つたり、味付けを濃くしたりがちです。

それで少しくらい味が変つていても、わからないこともあるでしょうし、そのほか、お正月に出廻る食べ物のほとんどが、色素とか、甘味剤のような添加物の使用については、食品衛生法では、きめられていますが毎年年末、年始の取り締りで必ず違反品が発見されています。

これは食べ物の衛生の点で大きな問題ですが、保健所の食品衛生監視員がたえず監視していても、なほ違反品が出廻るのですから、やはり消費者の方の協力が、どうしても必要といえましよう。疑わしい食べ物は、すぐ保健所で調べてもらうなど、違反品を一掃するために一人一人の、ご協力が望まれます。

ことしも健康で明るく楽しい、お正月の食生活を送るようにつとめましよう。

衛生部環境衛生課

樫原伊織氏 原敬三氏

狩太町監査委員に選任せられました

旧ろう、十八日の第九回狩太町町議会定例会において先に辞任せられました、中居梅造氏、遠藤京作氏の後任として町議会議員より樫原伊織氏、学識経験者より元町郵便局長原敬三氏が選任せられました。

歳末助け合い募金額

狩太町婦人団体連絡協議会は歳末助け合い運動に呼応して、この程二万九千四百六十八円也の協力を得ましたので町社会係を経て、町内生活困窮者三十一世帯と町出身の施設入所者に、それぞれ、お贈りいたしました。募金額の地域別は次のとおりでした。

地区別	募金額
王子	九三〇円
ニセコ	六〇〇円
宮田	二、四〇〇円
近藤	三、〇〇〇円
曽我	二、一六〇円
桂	二、五〇〇円
福井	二、二九二円
藤山	一、二〇〇円
中央	一三、六八六円
新興	七〇〇円
合計	二九、四六八円